

オモチャの収納
かたづけたくなる

両親や両祖父父母が与え、知人から譲り受けたりもして、現代の子どもはオモチャをたくさん持っています。例えば新幹線のおモチャは実物を抽象化したものなので、表現力を養います。本物を見た時の感動も一入（ひとしお）でしょう。オモチャはたくさんあるほうがいいのです。問題は、片付け、収納です。早くから片付けられる子に育てる方法を考えてみます。

◎リビングが遊び場

子ども部屋があっても、幼いうちはリビングで遊ぶ子どもがほとんどです。家族と一緒に遊ぶのが安心ですし、また遊んでもらえるからです。逆に言えば、幼いうちは子ども部屋は不要ということ。リビングが子どもたちの居場所です。

リビングの一角に子どもコーナーをつくり、そこにオモチャ用収納グッズを置きます。しやすいやすくするためには、オープン棚やフタのない収納グッズがいいでしょう。ボックスでもい

いのですが、子どもにも扱いやすい軽くて丈夫なゴム製バケツなどがお薦め。オモチャの種類別、子ども別に色を分ければ、楽しみながら片付けることができます。子どもはカラフルが好き。ただ、リビングは他の家族もつろぐ場所なので、カラフルすぎると落ち着きません。自然な雰囲気を作りたいから、インテリアとのバランスを考え、オモチャ用収納グッズも色を抑えめにします。

オープン棚やフタがない収納グッズは中身が見えるから嫌だというなら、扉やフタのある収納でもかまいません。その場合も出し入れしやすい扉やフタにし、収納グッズも子どもの背丈にあわせ低い位置に置きます。親が日常的に使う収納場所の近くにオモチャ収納スペースを確保すれば、親が日常的に出し入れする姿を子どもが真似するようになり、片付けが自然と身に付くのではないのでしょうか。

◎絵本の収納

絵本は子どもを心豊かに育てます。家庭では好きなときに絵本に触れることができるように、本棚に並べておきたいものです。しかも、贅沢に表紙を正面に向けるようにして。大人は背表紙で本を選べますが、絵本は表紙で内容が分かるようになっていきます。読みたい絵本を見つけたら、表紙を正面に向けてるのがベスト。全部の絵本を正面というのは難しいでしょうから、

好みの絵本だけでも正面向きにします。正面向きにする絵本を時々入れ替えればよいのです。正面だと選びやすく戻しやすいのです。

◎3歳からの片付け

3歳くらいになると片付けられるようになります。「片付けなさい」と叱るだけでは逆効果。自分になりたいことを我慢できるようにするのは5歳くらいからといえます。遊びを中断する片付けは辛いことなのかもしれません。最初のうちは、子どものペースに合わせ根気よく付き添うことです。それも大事な親子のコミュニケーションです。子どもはオモチャを独特の分け方で片付けるかもしれませんが、理由を聞いてみると、子どもへの理解が深まるかもしれません。



表紙が見える本棚



ゴム製バケツ

読者からのお便り



今回はどんな

奈良市 榎田美恵子様

2カ月に1回ポストに入る「ごんにちわ奥さん」紙、今回はどんな「お便り」アイデアが載っているか楽しみにしています。

嬉しく我慢

滋賀県彦根市 志賀洋子様

ビルトインコンロを交換して便利に利用させていただいていますが、どんな高性能なのが出てくるので、買い替えを焦ります。ですが順調に利用させていただいているので、まだ交換は先になりそうですが、嬉しく我慢させてもらいます。

丁寧な仕事ぶりで安心

和歌山市 宮下慶子様

今年の夏、風呂のシャワーなどの取替え工事をしていただきました。若い人たちの丁寧な工事で安心しました。今回、個人商店のガス店さんから、会社組織で、ぼっぽガスの大丸エナウインさんの名前を聞きました。営業マンはしっかり、現場の人たちのチームワークもすごいです。これからも頑張ってください。

何事もスピーディーで

滋賀県湖南市 山中千佳子様

電力の自由化で悩んでいたところ、大丸エナウインさんが来

られて、素早く手配してください。感謝しています。何事もスピーディーで安心です。

食欲の秋

奈良県御所市 森小夜子様

夏も終わり、朝夕涼しくなつて、ご飯も美味しくなってきました。食欲の秋に向かって、まつくらです。

贅沢なご馳走

滋賀県野洲市 浅尾まさ子様

新米の時期になるといつも思うのが、ガスで炊いたご飯は美味しいという事。何よりの贅沢なご馳走です。

今回も孫たちに

高松市 桐原幸子様

童話集が当たりました。ありがたうございました。幸運にも4、5年前にも当たり、読ませていただき、孫たちに送りました。今回も送ってやろうと思います。喜んでくれると思う次第です。

